

## 秋冬出荷トルコギキョウ切り花の高温期の育苗技術

現在、神戸市を中心に8～9月に定植する秋冬出荷のトルコギキョウ栽培が増加している。トルコギキョウの性質として高温期の育苗は成苗率の低下や定植後のロゼット※や生育不良の発生が問題となる。そこで高温を回避する育苗方法として冷房育苗、連続冷蔵育苗、間欠冷蔵育苗の効果を比較した。

### 内容

#### 1 育苗方法

2品種を供試し、いずれも406穴セル成型トレイに播種後、10℃、5週間の種子冷蔵、その後12時間日長、明期25℃、暗期20℃、2週間の発芽処理を施した。冷房育苗：約2万ルクスの明るさの人工気象室で明期25℃、暗期20℃で4週間育苗した。連続冷蔵育苗：4週間のなりゆき環境温室での育苗後、冷蔵庫（10℃、暗黒）で定植まで貯蔵した。間欠冷蔵育苗：1週間ずつの温室での育苗と冷蔵庫での貯蔵を4サイクル繰り返した。無処理：発芽処理後、温室で4週間育苗した（表1）。

#### 2 苗の生育と開花

成苗率はいずれの品種も連続冷蔵に苗腐敗が発

生し最も低かった。苗株幅は育苗法によって異なっていた。「レイナ・ラベンダー」の無処理は節間伸長が抑制され、未開花株が発生し、開花率が低下した。また開花しても到花日数が長かった。無処理では両品種ともに節間伸長が抑制され茎長が短かった（表2）。

#### 今後の方針

品種によっては種子冷蔵のみでは定植後の生育が不良となる。そのため高温期の良苗生産においては冷房または間欠冷蔵技術の導入を進める必要がある。

山中 正仁（農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0790-47-2424）

※ロゼット：葉のみ展開し、茎が節間伸長しない状態

表1 育苗方法

育苗方法	5月13日	6月10日	6月17日	6月24日	7月1日	7月8日	7月15日	7月22日	7月29日	8月5日	8月12日	8月19日	8月26日
冷房	播種・種子冷蔵(5週間)		発芽処理				冷房室						
連続冷蔵	播種・種子冷蔵(5週間)		発芽処理		温室			冷蔵	冷蔵	冷蔵	冷蔵	定植	
間欠冷蔵	播種・種子冷蔵(5週間)		発芽処理		温室	冷蔵	温室	冷蔵	温室	冷蔵	温室	冷蔵	
無処理	播種・種子冷蔵(5週間)		発芽処理				温室						

表2 育苗方法が苗の生育及び開花に及ぼす影響

品種	育苗方法	成苗率 <sup>z</sup> (%)	苗株幅 (mm)	開花率 <sup>y</sup> (%)	到花日数 <sup>x</sup>	開花節数 <sup>w</sup>	茎長 <sup>v</sup> (cm)
ボンボヤージュ ホワイト	冷房	105.6	11.2a <sup>u</sup>	97.5	131	10.5a	46.9c
	連続冷蔵	92.6	18.5c	97.5	131	10.5a	43.6b
	間欠冷蔵	96.2	15.7b	92.5	134	10.4a	44.7bc
	無処理	97.2	20.9d	92.5	131	10.3a	39.5a
レイナ ラベンダー	冷房	92.7	10.5a	100.0	120	9.0a	41.2b
	連続冷蔵	89.6	17.1d	95.0	124	9.8b	43.5b
	間欠冷蔵	98.3	14.3b	100.0	124	10.0b	43.6b
	無処理	95.6	15.6c	75.0	131	10.2b	36.1a

<sup>z</sup>定植時成苗数/発芽処理終了時苗数 <sup>y</sup>収穫株数/定植株数 <sup>x</sup>定植から定植株の50%開花までの日数

<sup>w</sup>頂花着生節位 <sup>v</sup>頂花着生節位までの長さ <sup>u</sup>Tukeyの多重比較、異なるアルファベット間に有意差あり(5%)